

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの

目標達成計画

作成日: 平成26年01月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5-(4)	ホームの力だけでは解決できない、設備面や防災時の対策など、良好な協力関係から改善に向けた取り組みが期待できる	地域との連携を深め、地域に開かれた、地域の方々が気軽に立ち寄れるホームとされる	ホームで開催される、行事などは、地域の方々へも呼び掛け、解放し、積極的参加を促す。	6ヶ月
2	23 (9)	モニタリングの際に活用するためにも、介護記録に本人の話した内容の他に、「生の言葉」ヲ記録するような工夫を望みたい。	職員からの要望を取り入れた、専門職としてのスキルも同時にあげることが出来る『記録』となる、〈介護記録〉を制作していく。	実際に記入する職員の要望を取り入れ、試作を繰り返し完成していく	12ヶ月
3	35 (13)	行政からの委託運営という事もあり、ホームでの出来る役割、行政の協力体制など、運営推進会議で検討する取り組みも必要といえよう。	行政との連携により、1での目標ともした、地域の中核機関となりうる連携を図る。	運営推進者会議は勿論、ホームでの開催行事には、参加を依頼し、ほのぼのとして可能な行政からの推進事項を対応していく	継続
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。